



**第1869回 例会**

2012-13年度RI会長: 田中 作次  
 第2640地区ガバナー: 北中 登一  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 橋本隆  
 幹事: 吉本正美  
 会報: 前田吉彦



VOL. 39 No. 27

2013年1月30日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
 例会: 毎週水曜日 12:30~

**司会者** 橋本 隆 会長

**唱歌**

“兄弟船”

福留 栄仁 君



**出席報告**

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
52名	3名	12名	75.51%
1月16日修正出席率 100%			

**ニコニコ箱**

(敬称略)

- ◇本田さん、卓話頑張ってください。  
 福留・後藤・橋本・畑地・平野・本田・堀・  
 岩崎・片井・木村・小山・畔田・楠本・丸山博・  
 中川・岡本・佐田・坂本・武田・竹村・谷中・  
 上原・安井・吉本
- ◇和歌山市内のとんかつ屋で、山下郁夫さんに会いました。来週、卓話に行きますとのこと。愛須
- ◇楠本様、例会復帰おめでとうございます。良かった  
 です。 坂本
- ◇グルメの会のお礼と風邪で皆に敬遠されるので  
 早退お許しを。 吉田
- ◇お花頂きます。 岩崎

**幹事報告**

■例会日時変更

- ◎串本RC  
 2月 5日(火)→ 2月 5日(火)12:30~  
 場所: 串本ロイヤルホテル  
 移動例会<IMに向けて>  
 2月12日(火)→ 2月9日(土)・10日(日)  
 場所: 串本ロイヤルホテル  
 <第1組IMに振替>
- ◎新宮RC 2月 6日(水)→ 休会 (お灯まつり)
- ◎海南RC 1月30日(水)→ 休会
- ◎橋本紀ノ川RC  
 2月26日(火)→ 2月24日(日)12:30~  
 場所: 橋本商工会館8F 大ホール  
 <IM4組合同例会>
- ◎和歌山東南RC  
 2月20日(水)→ 2月22日(金)18:30~  
 場所: ダイワロイネットホテル和歌山4F  
 <和歌山南RCとの合同例会>

**会長報告**

- 本日のプログラムは会員卓話として本田耕二君です。後ほど宜しくお願ひ致します。
- 1月26日(土)日置川プロバスクラブ創立11周年記念大会へ、吉本幹事と2人で出席して参りました。
- 1月27日(日)米山記念奨学生の選考会に米山学友小委員長の坂本 正人君が出席して下さいました。ご苦労様でした。
- 本日は奉仕食となっております。ご協力よろしくお願ひいたします。

■メイクアップ

- ◎1月26日(土)日置川プロバスクラブ創立11周年大会  
 橋本 隆君、吉本 正美君
- ◎1月27日(日)米山記念奨学生選考会  
 坂本 正人君
- ◎1月29日(火)田辺はまゆうRC  
 森本 修至君、谷中 順次郎君、吉本 正美君

■回覧

- ◎週報「田辺はまゆうRC」
- ◎「英語版ロータリアン2月号」

## ■連絡

- ◎2月のロータリーレートは 1ドル=88円 です。
- ◎今年も東京RC会員のクマヒラ様より「抜萃のつゞりその七十二」を頂いています。各自トレーに入れてあります。
- ◎ロータリーの友2月号が届いています。各自トレーに入れてあります。
- ◎米山記念奨学会より平成24年7月1日から12月31日までの寄付に対して「確定申告用寄付金領収証」が届いています。該当者のトレーに入れてあります。

## 本日のプログラム

十二支と世界の正月

本田 耕二 君



**正月**とは本来、その年の豊穰【ほうじょう】を司る歳神

様【としがみさま】をお迎えする行事であり、1月の別名。現在は、1日から3日までを三が日、7日までを松の内、あるいは松七日と呼び、この期間を「正月」と言っています。地方によっては1月20日までを正月とすることもあります。又、正月は家に歳神様をお迎えし、祝う行事で、歳神とは1年の初めにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らせる約束をしてくれる神様。正月に門松やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から歓迎するための準備です。また、現在のようなお正月の行事（門松やしめ飾り、鏡餅などを飾ること）が浸透したのは、江戸時代に入り庶民にも手軽に物品が手に入るようになってからのようです。1年の始めである正月は春の始まり、すなわち「立春」とも考えられており、人々は春の訪れがもたらす生命の誕生を心から喜びました。

「めでたい（芽出度い）」という言葉は「新しい春を迎え芽が出る」という意味があります。また新年に言う「明けましておめでとうございます」という言葉は、実は年が明け歳神様を迎える際の祝福の言葉でした。つまり、神様への感謝の言葉を人々の間で交わすことにより、心から歳神様を迎えたことを喜びあったということです。

**御節料理**とは、節句に作られる料理。特に、正月に備えて年明けまでに用意されるお祝いの料理を指します。単におせちともいい、お節（せち）すなわち五節供（ごせつく）の意で、中国渡来の年中行事。



その代表的なものは正月の節供なので、節供料理は正月料理の意になっている。五節供は人日（じんじつ）（1月7日）、上巳（じょうし）（3月3日）、端午（たんご）（5月5日）、七夕（たなばた）（7月7日）、重陽（ちょうよう）（9月9日）であり、それぞれの節供には特別の料理がある。

おせち料理の名前の由来ですが、元々「おせち」は「お節供（おせちく）」の略称であり、暦上の節句を指す言葉だったのです。「お正月」や「桃の節句」、「端午の節句」などの節句の席で食べる料理を総称して「おせち料理」と呼んでおり、本来はお正月の料理だけを指す言葉ではありませんでした。

節句の日には決められた料理を神様にお供えし、そのお下がりをいただくという習慣がありました。やがて節句のお供えという習慣が薄れ、戦後には節句の中で一番目にあたるお正月の料理だけを「おせち料理」と呼ぶようになったのです。お正月におせち料理を作る理由上記の通り、おせち料理は本来神様にお供えするためのものでした。お正月のお供えものが豪華かつ保存のきくおせち料理として定着したのには、この「神様」に理由があります。この時期に訪れる火の神様は特別な力を持っていて、その年が善いものになるか悪いものになるかを決めてしまうほどだとされていました。そのため丁重におもてなしをする必要があったのです。またこの神様は火や大きな音が苦手だとされていました。そのため火や音を慎み、台所仕事を行わないようにするために作られたのが保存のきく料理、つまり現代のおせち料理につながるものだったのです。またこれには「お正月くらいは女性を休ませるため」という意味もあります。また、お正月は新しい一年が始まる大切な時期。「今年一年の食事が豊かなものになりますように」との願いも込められ、より豪華なおせち料理を作るようになりました。

おせち料理の基本は「祝い肴三種」、「口取り」、「酢のもの」、「焼きもの」、「煮もの」です。これらは地方によって中身が異なります。「めでたいことを重ねる」という縁起を担いで主に四段の重箱に詰められるようになりました。また、その他のお正月の献立として「お屠蘇（とそ）」、「雑煮」があり、雑煮も「めでたいことを重ねる」としておかわりをするのがいいことだとされています。

お節の語源としては中国から伝わった五節供の行事が奈良時代の朝廷内で節会（せちえ）として行われ、そこで供される供御を節供（せちく）。現在のような料理ではなく、高盛りになったご飯などであったようです。

御節料理の基本は、お屠蘇、雑煮、祝い肴三種（三つ肴、口取り）、煮しめ 酢の物、焼き物である。地方により、三つ肴、雑煮、煮しめの内容は異なる。

### 紅白かまぼこ

祝儀用としてめでたい彩りから。元は神饌の赤米、白米を模したもの。

## 伊達巻

「伊達」の由来は華やかさや派手さを表す言葉で伊達政宗の派手好きに由来することの他、諸説ある。見た目の豪華さで定番となる。巻き物（書物）に似た形から、知識が増えることを願う縁起物。卵焼きやだし巻を代わりに使用する場合もある。

## 栗金団（くり きんとん）

「金団」とは黄金の団子という意味（金の布団の意味とする地方もある）で、見た目の色合いが豪華で金塊のように見えるところから定番となる

## 昆布巻き

「よろこぶ」の語呂合わせから。

## お多福豆

字通り福が多からんことを 祈願した。



## 世界のお正月

**アメリカ**のカウントダウンはとても有名で、花火が上がり爆竹が鳴り、お酒を飲んで盛大にパーティー！

お正月もさぞや盛り上がっているのでは・・・と思いきや、実はアメリカ人の年始は意外とあっさりしている。カウントダウンのパーティーの影響で、朝遅めの起床。そしてハイスクールの全米1を決めるフットボールの試合観戦をするのが定番なようだ。クリスマスは家族でディナーというのが定番なアメリカ人にとってはクリスマスが、日本のお正月に近いといえるかもしれない。

**中国**では元旦は春節と呼ばれ、時期的に日本で言う旧正月に当たり、ちなみに今年（2023年）の1月23日が元旦。そこから都会では7日間、その他では15日間お正月がずーっと続く。正月は中国人にとっても大切な行事のひとつで、遠くに住む家族も帰省して一家団欒でごちそう「年夜飯（ねんやはん）」を食べ、年越しには中国北部では餃子、南部では「ニエンガオ」というお餅をお雑煮のようにして食べます。一晩中花火や爆竹を鳴らすという厄払いをしたり、獅子舞や高脚踊り、灯籠祭など様々な行事が目白押しだ。ちなみに大晦日に親族で集まるのは鉄則らしく、中国の帰省ラッシュ時期はおびただしい数の人が駅に溢れていて、日本の満員電車どころではない。

日本の門松のようなカンジで「福」などと書いて玄関や窓などに逆さまに貼ります。中国語で逆さまを意味する「倒は到来の「到」と同じ音ですから、逆さまにすれば、「福」がやってくるという意味になります。中国の春節も日本と同じように人々にとって一年で一番重要なイベントです。

**フランス**も、盛り上がるのはカウントダウン。友達の家に集まって盛大にパーティーするんだとか。日本の門松のようにヤドリギという植物を玄関先に飾ったりする文化もあったそうだが、最近は薄れてきてる。

今も続いている文化といえば、お正月になると売り出されるという「ガレット・デ・ロワ」というケーキを食べる習慣。ケーキの中にはフェーブと呼ばれる小さな陶器の人形が入っていて、それに当たればラッキー！紙の王冠がもらえ男性なら王様、女性なら王妃様となり、相手を選んでキスをするというのが正式なルールらしいが、フランス人にとっては新年のおみくじみたいなものようだ。

**韓国**は西暦と旧暦の2本立てです。ちょうど日本のお正月と中国の春節があるようなカンジ。韓国は儒教思想の影響か、一家団欒というよりも祖先の霊を祭り、目上を敬うことが目的のようです。

西暦1月1日は、「新正」と呼び、年が変わるといだけの普通の祝日です。カウントダウンや花火などのイベントがあります。陰暦による正月は、「ソルラル」といい、中国の春節と同じです。

ソルラルは元々「新しい年を迎え、人間のあらゆる言動を慎まなければならない」という神聖な意味が込められているそうで韓国は儒教思想の影響か、祖先の霊を祭り、目上を敬うことが目的のようです。

お雑煮「トックッ」は牛肉で出しを取った白っぽい汁に、100円玉位の小さい真っ白な小判型のお餅を入れたものです。

伝統遊びは、その数約350種類といわれていて、すごろくに似た特にユンノリという三国時代に起源を持つ韓国固有の民俗遊びが有名です。

## 十二支と十干

### ★ 十二支（じゅうにし）

【十二支】が「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」（鼠牛虎兎竜蛇馬羊猿鳥犬猪）12種類で年・月・方角・時間を表し、

【十干】（じっかん）が「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の10区分で、等級区別に使われる干支、十二支ともに奇数番同士、偶数番同士が組み合わせられ、合計60の組み合わせができる。（これが年齢で一周すると「還暦」）。



## 子の由来【ねずみ】

すぐに子ねずみが増え成長することから、子孫繁栄の意味があります。



干支の特徴 行動力と財

## 丑の由来【うし】

肉は大切な食料に、力は労働にと社会に密接に関わる干支です。



干支の特徴 粘り強さと誠実

## 寅の由来【トラ】

虎は毛皮の美しい模様から前身は夜空に輝く星と考えられました。



干支の特徴 決断力と才知

## 卯の由来【うさぎ】

兎の穏やかな様子から家内安全、跳躍する姿から飛躍を表します。



干支の特徴 温厚で従順

## 竜の由来【龍】

伝説の生き物・龍は瑞祥と言われ、古来中国では、権力者の象徴として、扱われました。



干支の特徴 正義感と信用

## 巳の由来【蛇】

執念深いと言われる蛇ですが恩も忘れず、助けてくれた人には、恩返しを行うと言われています。



干支の特徴 探究心と情熱

巳の方位は南南東（正しくは、南東 微南）巳の刻は午前10時およびその前後2時間。

巳の月は陰暦四月。「巳」という字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味があります。「巳」を動物にあてはめると「蛇」になりますが、古来より、蛇は信仰の対象となっており、谷神（やとのかみ。谷や低湿地を司る）、豊穰神、天候神などとして崇められてきました。祭祀（さいし）や祀りごとの「祀」に「巳」が用いられているのは、「祀」とは自然神を祀ることをいい、自然神の代表的な神格が巳（蛇）だったからです。

また、蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させ、餌を食べなくても長く生きることから「神の使い」として崇められ、全国各地に蛇神を祀っている神社があります。七福神のひとつである「弁財天」は蓄財と芸能の女神ですが、蛇の形をした神として祀られていることも多く、蛇の抜け殻を財布に入れて蓄財を願うなど、お守りにする風習が今でもみられます。巳の特徴は探究心と情熱。蛇は執念深いとされていますが、恩を忘れず、助けてくれた人には恩返しをされると言われています。

## 午の由来【うま】

人との付き合いが古い動物。人の役に立ち、人間も馬を大事に扱いました。



干支の特徴 陽気で派手好き

## 未の由来【ひつじ】

群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らす事を意味しています。



干支の特徴 穏やかで人情に厚い

## 申の由来【猿】

山の賢者で、山神の使いと信じられ、信仰の対象としても馴染み深い動物です。



干支の特徴 器用で臨機応変

## 酉の由来【鳥】

人に時を報せる動物。「とり」は「とりこむ」と言われ、商売などには縁起の良い干支でもあります。



干支の特徴 親切で世話好き

## 戌の由来【犬】

社会性があり、忠実な動物。人との付き合いも古く親しみ深い動物。



干支の特徴 勤勉で努力家

## 亥の由来【いのしし】

猪の肉は、万病を防ぐと言われ、無病息災の象徴とされています。



干支の特徴 勇気と冒険